

研究課題名：	新型コロナウイルス感染症に伴う集中治療後症候群の研究
研究機関名 所属（診療科等）：	総合研究代表者 国立病院機構東京医療センター 救急科 医師 畠山 淳司
研究責任者及び職名：	さいたま赤十字病院 救急科 早川 桂
研究期間：	2020年 12月 10日 ～ 2022年 12月 31日
研究の目的と意義：	この研究の目的は、コロナウイルスに感染し集中治療室に入室した患者さんの身体機能、認知機能、精神の障害を調べて、コロナウイルスが重症患者の長期予後にどのような影響を及ぼすかを明らかにすることです。
研究内容：	この研究のため、2020年3月より2021年3月末までに治療した方の診療録、検査データの調査を行います。また、ICU退室6ヶ月後、1年後、2年後に身体機能、認知機能、精神に関するアンケート用紙を郵送致しますのでご協力をお願い致します。対象となるのは集中治療室で人工呼吸管理以上の治療を行った方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報である病名、治療経過のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。
個人情報の取り扱い	調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。また、今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。 また、ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。
問い合わせ先： （拒否等の受付窓口）	<b>【研究担当者】</b> 所属：さいたま赤十字病院 救急科 氏名：早川 桂 住所：埼玉県さいたま市中央区新都心1番地5 電話：048-852-1111